

2020年4月号をお届けします。三寒四温とはよくいったもので、地球温暖化、異常気象の昨今でも、今の時期には寒い日と暖かい日が交互にやってきます。新型コロナウイルス騒ぎの中でも、桜はきちんと咲いてくれました。感染予防のため、都市部ではお花見はできませんが、遠くからでも桜を見ると心がなごみます。感染が1日も早く収束することを祈っています。

さて、本号の特集は「クリニックで子どもの肝機能障害をみたとき」です。「ウイルス性肝炎」「感染症による肝障害」「ウイルス性食中毒」「自己免疫性肝炎」「先天代謝異常症」「体質性黄疸」「薬物性肝障害」「メタボリックシンドローム」による肝機能障害の診断と管理、治療についての特集です。クリニックで肝機能障害をみることは多々ありますが、軽症な場合にはなかなか次のステップに進めないことを経験します。本特集が先生方の日常診療に役立てば幸いです。

特集以外にも多くの論文が載っています。総説欄の「重症心身障害に対する Shared decision making

(SDM)」では、本人の意思確認が難しい場合の方針決定にいて述べられています。そのほか総説では「小児の中毒事故」「血漿および血漿分画製剤の最新動向」「胎児心磁図を用いた先天性QT延長症候群の出生前診断と管理」が載っています。また、診療欄の「PICU 医が贈る 明日から役立つ小児救急初療のトリビア」では、小児救急で役立つ初期治療について著者の豊富な経験に基づいて概説いただきました。

症例報告では、「急性胃腸炎を契機にサラセミアと診断された二卵性双生児の姉妹例」「A 群溶血レンサ球菌による腋窩リンパ節膿瘍の1例」「エミシズマブが著効し QOL の改善が得られたインヒビター非保有血友病 A の1例」をいただきました。「最近の外国業績より」では日本医科大学小児科教室から、腎・尿路に関する論文を紹介いただきました。

以上、非常に充実した、日常診療に役立つ内容になっていますので、ご一読下さいようお願いいたします。

(中西 敏雄)

編集：伊藤保彦・河野陽一・中西敏雄・岡部信彦・清水直樹・高橋孝雄（ABC 順）

小児科

第61巻 第4号 4月号
2020年4月1日発行（毎月1回1日発行）
定価（本体2,700円＋税）
年間購読料金
定価（本体42,100円＋税）
〔年間13冊（増刊号、増大号を含む）の誌代〕
〔年間予約購読者に限り送料無料〕
※別冊は年間購読に含まれません※

発行所 金原出版株式会社
発行者 福村 直樹
〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14
Tel 03(3811)7165 [雑誌部直通]
Tel 03(3811)7184 [営業部直通]
Fax 03(3813)0288
<http://www.kanehara-shuppan.co.jp>
振替口座 00130-1-191269
印刷所 三報社印刷株式会社 Tel 03(3637)0005
広告申込先 福田商店 Tel 06(6941)5600

- ・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。
- ・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。